

かえで通信



GLP-1 受容体作動薬 『リベルサス錠』 文責：薬剤部 大谷

世界初の経口摂取できるGLP-1 受容体作動薬 『リベルサス錠』 が
2 型糖尿病薬として発売されています。

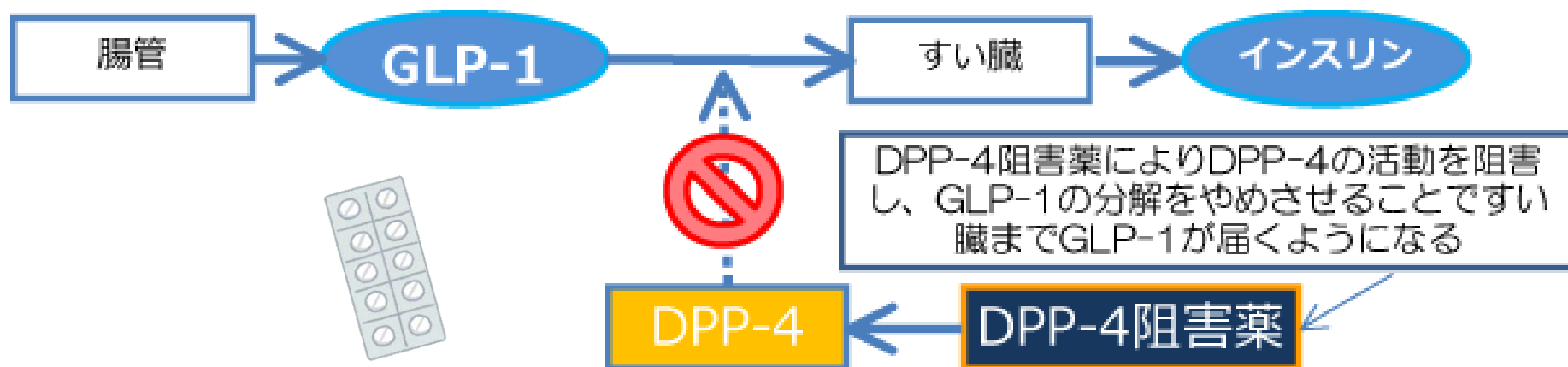


GLP-1 受容体作動薬とは？

膵臓に働きかけて、血糖値が高くなると、インスリンの分泌を促して血糖を下げる薬になります。血糖値が高くなる時に作用するため、低血糖を起こしにくい薬でもあります。また、胃腸の働きを緩徐に調整したり、食欲を抑制する事によって、体重を減らす効果を持つのが特徴です。

これまでGLP-1 受容体作動薬は、皮下注射が必要でしたが、同じ経路に作用するDPP-4阻害薬よりもその効果が強く、血糖値がかなり高くなった人に使用されていました。飲み薬でのGLP-1 受容体作動薬による治療が受けられるようになり、治療に選択肢が増えることとなります。

[GLP-1 受容体作動薬とDPP-4阻害薬の作用機序]



『リベルサス錠』の今後の臨床での位置付け

現在糖尿病治療薬として頻用されているDPP-4阻害薬やSGLT-2阻害剤との比較試験も行われていますが、共にHbA1cの改善を達成し、DPP-4阻害薬との比較では、体重も有意に減少させました。また、注射薬GLP-1 受容体作動薬との比較でも、HbA1c、体重に対する効果はほぼ同等とされています。

『リベルサス錠』は当院でも院外採用しているお薬です。従来の経口血糖降下薬療法で血糖コントロールが不十分な場合の治療選択肢の1つとして使用されます。

